

切削抵抗(加工抵抗)の理論

切削加工において、工具が工作物に塑性変形を生じさせることによって、切りくずを分離させるときに工具が受ける変形抵抗のことを切削抵抗(加工抵抗)という。切削抵抗は切削方向、切込み方向および送り方向に成分を分解することができ、それぞれ主分力、背分力および送り分力という。

ドリルやフライス工具などの回転工具の場合は主軸にかかる切削トルクを切削抵抗として考えることがある。

[最初の概念マップに戻る](#)

